

# 多様な動きをつくる運動(遊び)部会

## 1 多様な動きをつくる運動(遊び)における研究主題の捉え方

多様な動きをつくる運動(遊び)では、子供自身の「できた」を積み重ねられる特性がある。様々な基本的な体の動きを結果的に身に付けるためには、「学びのサイクル」を繰り返すことが大切である。そのために、運動遊びとの出会いを大切にするとともに、子供一人一人の「やってみたい」という思いを引き出し、試行錯誤する機会を保障することが必要となる。

**「自ら学び続ける力」=「学びのサイクル」を繰り返すこと**

「学びのサイクル」とは、子供が自己の課題に応じて、行い方や課題解決の方法を取捨選択し、動きを増やしたり広げたりすることである。



## 2 これまでの研究や部内授業で考えてきたこと

- 子供たちの課題(やってみたい動き)は常に変わり、変わるたびに「学びのサイクル」を回している。
- 自己決定とは、やってみたいことを子供に自由に選択させることではない。様々な行い方や課題解決の方法を子供が取捨選択をし、自己調整しながら取り組めるように指導する。
- 単元前半では、用具操作をやっている中でも、共通する動きのこつは全体で価値付ける必要がある。単元後半にかけて、子供が必要と感じていることを必要なときに共有していく。

## 3 研究主題を実現するための手立ての工夫

- (1) 学びの共有の再考 「学びを価値付ける時間」 ⇒ 「学びの共有」へ
  - 【単元前半】学習を進めるうえで、価値付けておきたいこと。(例)ボールの投げ上げ方、捕り方
  - 【単元後半】子供たちが必要としていること。(例)課題解決の方法、動きの広げ方・質の高め方
- (2) 教師の言葉がけの在り方 「具体的な言葉がけ」と「抽象的な言葉がけ」との使い分け
  - 【具体的な言葉がけ】部位、場所、目線など動きのこつに関する言葉がけ
  - 【抽象的な言葉がけ】子供自身が言語化できるようにする問いの言葉がけやつなぐ言葉がけ
- (3) 学習過程 子供自身が「学びのサイクル」を回せるように
  - 【学習過程の見直し】1～2年間を見通した「学び方」の計画
  - 【運動遊びの扱い】子供がやってみたい動きや行い方から取捨選択をして、取り組む

## 4 学習指導案

### (1) 学習過程 <第2学年 多様な動きをつくる運動遊び「ふたばSPACEワールドであそぼう」>

| 時       | 1～4  | 5～8  | 9～12                                | 13～16                          | 17・18 (本時)  |
|---------|--|--|-------------------------------------|--------------------------------|---|
| 段階      | 主に学習課題を見いだす段階  |  |                                     |                                | 主に学習課題を解決する段階   |
| 学習内容・活動 | ○体を移動する運動遊び<br>○用具を操作する運動遊び【ボール】   | ○用具を操作する運動遊び【ボール】<br>○用具を操作する運動遊び【竹馬、一輪車、長なわ等】 | ○体のバランスをとる運動遊び<br>○用具を操作する運動遊び【フープ】 | ○力試しの運動遊び<br>○用具を操作する運動遊び【短なわ】 | ○移動、バランス、力試しの運動遊び<br>○用具を操作する運動遊び【ボール、フープ、短なわ】<br>※やってみたい運動遊びを選択して取り組む  |
|         | <←単位時間の学習の流れ><br>①準備運動 → ②移動、バランス、力試し → ③用具操作<br>→ (やってみる→学びの共有?もう一度やってみる)<br>→ ④振り返り<br>※上記の学習過程を毎時間、毎単元繰り返すことで、学習課題を見だし、試行錯誤しながら解決するという「学びのサイクル」を経験し、自ら学び続ける力の土台を身に付けられるようにする。 |  |                                     |                                | ①準備運動<br>②移動、バランス、力試しの運動遊びから選択して取り組む<br>③やってみたい用具や動きを選択して取り組む<br>④振り返り<br>※1～16時で身に付けた学ぶ力を生かして、自ら学習課題を選び、解決する学習過程を実践する。 |

(2) 本時の学習

① 本時のねらい

- 基本的な動きができるようにする。【知識及び運動】
- 多様な動きをつくる運動遊びを選び、試行錯誤しながら取り組むことができるようにする。  
【学びに向かう力、人間性等】

② 本時の展開

| 学習内容・活動  | ○教師のかかわり<br>◎配慮を必要とする子供への支援   | □評価（方法）          |             |  |   |
|--|---|------------------|-------------|--|---|
| 1 準備運動をする。   | ○曲に合わせて体を動かし、心と体のスイッチオンができるようにする。   |                  |             |  |   |
| 2 学習のめあてを確認する。<br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">             ㊦ もっとやりたい遊びで<br/>楽しもう！           </div> 3 「体のバランスをとる運動遊び」「体を移動する運動遊び」「力試しの運動遊び」の中からやってみたい運動遊びを選んで取り組む。<br><table border="1" style="margin: 5px auto; text-align: center;"> <tr> <td>力<br/>試<br/>し</td> <td>バ<br/>ラ<br/>ン<br/>ス</td> <td>移<br/>動</td> </tr> </table> <やってみる時間><br>↓<br><学びの共有><br>↓↑<br><もう一度やってみる時間> | 力<br>試<br>し   | バ<br>ラ<br>ン<br>ス | 移<br>動      | <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <b>発問</b><br/>           「今までどんな遊びをやったかな？」<br/>           「どんな遊びをやってみたいかな？」         </div> ○運動遊びを選び、すぐに取り組んでいる子供を称賛する。<br>○友達と一緒に運動遊びにすすんで取り組んでいる子供を称賛する。<br>◎上手な友達の動きを真似したり、動きのこつを具体的に助言したりする。<br>○「学びのサイクル」を回すことができている児童を称賛し、共有する。 | □やってみたい運動遊びを選び、「学びのサイクル」を回しながら取り組んでいる。【主体的に学習に取り組む態度】（観察・学習カード） |
| 力<br>試<br>し  | バ<br>ラ<br>ン<br>ス  | 移<br>動           |             |  |   |
| 4 「用具を操作する運動遊び」に取り組む。（ボール、フープ、短なわから選ぶ）<br><table border="1" style="margin: 5px auto; text-align: center;"> <tr> <td>フ<br/>ー<br/>プ</td> <td>短<br/>な<br/>わ</td> <td>ボ<br/>ー<br/>ル</td> </tr> </table> <やってみる時間><br>↓<br><学びの共有><br>↓↑<br><もう一度やってみる時間>   | フ<br>ー<br>プ   | 短<br>な<br>わ      | ボ<br>ー<br>ル | ○すすんで用具を選び、すぐに運動遊びに取り組んでいる子供を称賛する。<br>○用具ごとに子供を集め、学びの共有をする。<br>○本時のねらいに沿った子供の姿を紹介する。<br>◎共有した内容の理解を深めるために、個別に言葉をかけて確認する。   | □基本的な動きができる。【知識・技能】（観察・学習カード）                                   |
| フ<br>ー<br>プ  | 短<br>な<br>わ   | ボ<br>ー<br>ル      |             |  |   |
| 5 後片付け・整理運動をする。<br>6 学習の振り返りをする。   | ○本時のねらいに沿った振り返りができるように、本時の発問を確認する。<br>◎学習カードを書くために、取り組んだことを個別に言葉をかけて確認する。 |                  |             |  |   |

5 実証授業について

(1) 実施学年、実施単元、実施日、実施学校、授業者等

第2学年 多様な動きをつくる運動遊び 「ふたばSPACEワールドであそぼう」  
令和6年11月19日（火） 足立区立千寿双葉小学校 教諭 山本将司

(2) 実証授業で明らかにしたいこと

- 低学年における2年間の学習過程
- 子供が「自ら学び続ける」ための3つの手立ての効果

夏季合同研究会で、**多様部会に聞きたいこと**を事前に受け付けます！

